アクチュアリーについて
～　生命保険会社での
アクチュアリーの役割を中心に　～

三井生命保険株式会社
主計部　主計G
久世 祐平

この講演および資料は個人的な考えに基づくものであり、会社を代表する意見でありません。

目次

- 自己紹介
- アクチュアリーとは
- アクチュアリーの仕事
- 生命保険会社でのアクチュアリーの役割
- アクチュアリーのメリット
- アクチュアリーになるためには
- 最後に

自己紹介

〇経歴

- 平成17年　4月　大阪市立大学
  理学部 数学科 入学
- 平成21年　3月　大阪市立大学
  理学部 数学科 卒業
- 平成21年　4月　三井生命保険　入社
- 平成21年　7月　主計部 数理G
- 平成27年10月　主計部 主計G

自己紹介

〇携わった業務

- 保険料、責任準備金の計算
- 数理システムの設計・検証
- エンベディッドバリューの計算
- 事業費・収益の管理

〇日本アクチュアリー会　正会員

アクチュアリーとは

- 金融などの多彩なフィールドで活躍する“数理業務のプロフェッショナル”
- 確率論や統計学などの数理的手法を用いて、将来の不確定な事象を予測・把握
- 主に保険や年金に関わる諸問題を解決し、財務の健全性の確保や制度の公平な運営などに務める
- 海外でも広く認知されており、国際的な監督・会計基準の統一に向けたルール作りにも関与

アクチュアリーの仕事

①生命保険分野

- 商品開発
- 決算・収益管理
- リスク管理　等

②損害保険分野

- 商品開発
- 決算・収益管理
- リスク管理　等

③年金分野

- 年金制度開発（掛金の算定等）
- 年金制度維持（積立水準の検証）
- コンサルタント

生命保険会社での
アクチュアリーの役割（詳細）

○商品開発

- 保険料率（計算基礎率）の算定
- 十分性・収益性の検証
- 金融庁との折衝、社内説明

○決算・収益管理

- 準備金（責任準備金等）の計算
- 収益（P/Lや利源別損益）の分析・管理
- エンベディッドバリューの計算

生命保険会社での
アクチュアリーの役割（詳細）

〇リスク管理

- 準備金の十分性の確認
- ソルベンシーマージン比率の計算
- ERMの推進

〇経営企画

〇資産運用

〇営業企画

〇システム開発

アクチュアリーのメリット

- アクチュアリーの資料や発言が経営計画や販売計画を大きく左右することがあり、やり甲斐が大きい
- 難易度は高いが、業界での存在感は増しており、就職や転職に有利
- アメリカの職業ランキングでは1位の常連であり、日本でも有望資格ランキングで2位に選ばれるなど、注目度上昇中
- 資格取得までのフォローや給与水準など会社での処遇も厚い
- 社内外（海外含む）の優秀な人たちと交流があり、自己研鑽にもなる

アクチュアリーになるためには

- 日本アクチュアリー会の資格試験（計7科目全て）に合格することが必要
- 試験は、基礎科目５科目、専門科目２科目から成り、年１回実施される
- 合格率は概ね１０％～２０％で、全ての科目に合格するのに平均で7～８年ほど要する
- 大学数学レベルの知識を前提としているため、受験者の中心は数学科出身
- 資格を取得してから就職するのではなく、大学生のときに受験し始め、アクチュアリー職として働きながら資格取得を目指す

最後に

- たくさんの会社や職業のことを勉強したり、体験できるのは学生のときしかありません
- できるだけ多くの会社・職業・人に触れて、自分のやりたいことや興味のあることを探してください
- その中で、今日の講演を機に、生命保険会社やアクチュアリー職に興味を持って頂けたら幸いです
- 本日はありがとうございました

以上